

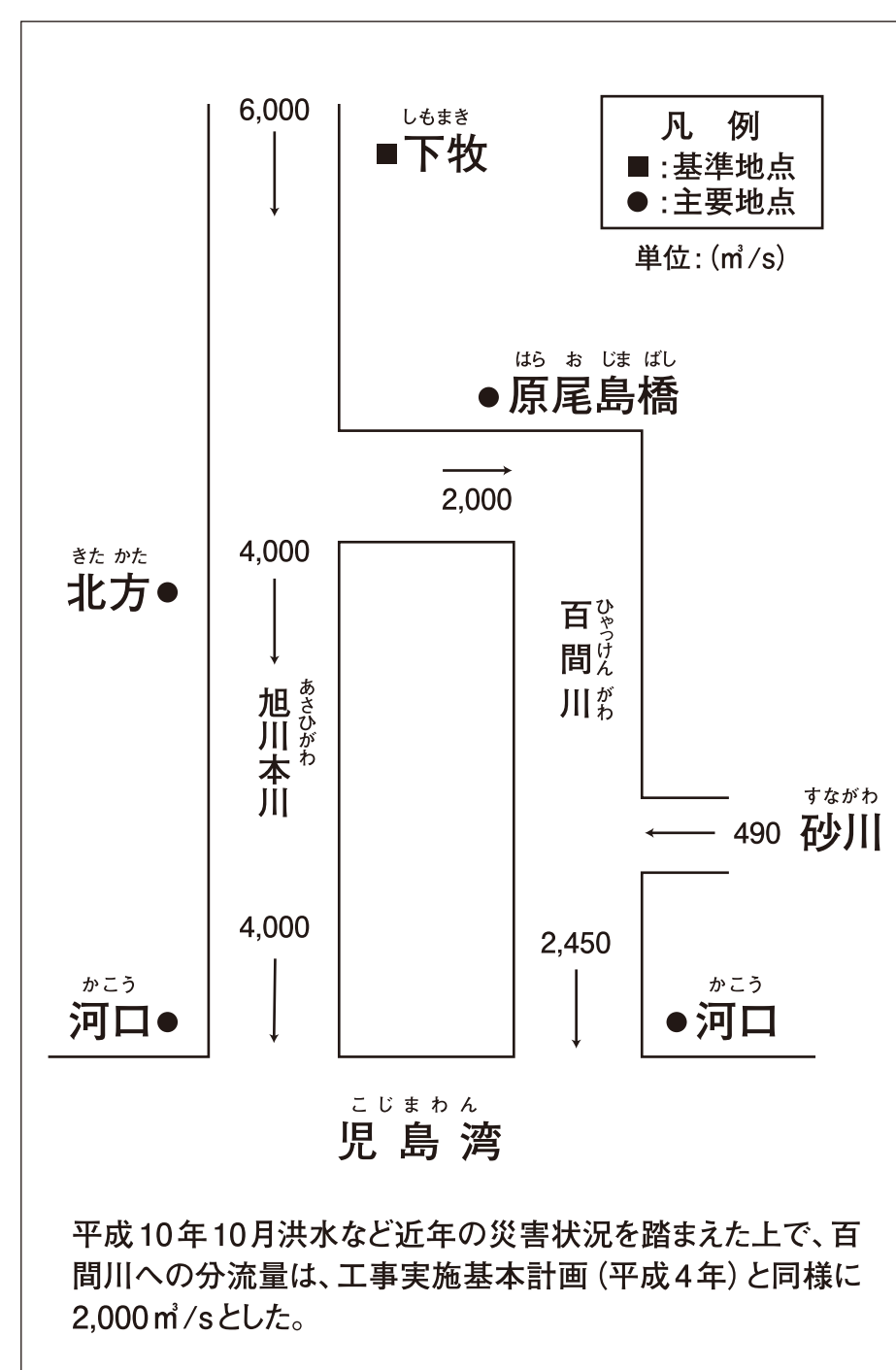
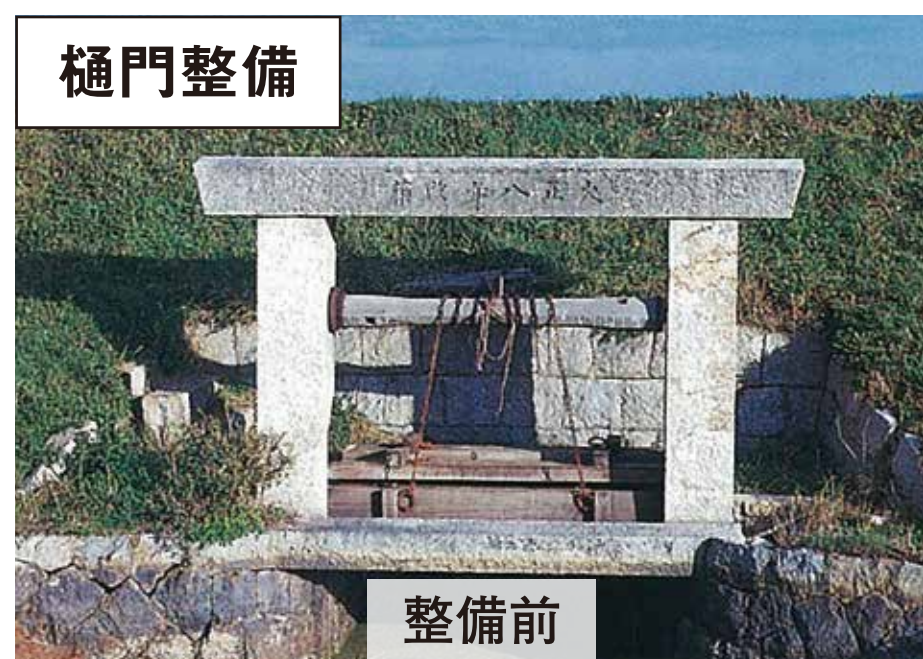


# 昭和49年、 本格的な百間川改修に着手

百間川は、岡山城下を洪水から守るとともに、下流域の新田開発のために築造されて以来、約300年にわたり旭川の放水路として岡山平野を洪水の氾濫から守る大切な役割を果たしています。

国土交通省では、百間川の役割の継承と、百間川沿川における安全確保の両立をめざして、昭和49年に築堤等の本格的な百間川改修に着手し、平成9年には工事实施基本計画（平成4年改定）の百間川の計画高水流量（最大毎秒2,000トン）に対応した堤防が概成しました。

年号	西暦	記事
明治 4年	1871	洪水。
5年	1872	洪水。
13年	1880	洪水。
14年	1881	洪水。
19年	1886	洪水。
25年	1892	大洪水。
26年	1893	大洪水。
29年	1896	河川法制定される。
34年	1901	旭川は、国の直轄河川となった。
大正 14年	1925	旭川改修期成同盟発足。
大正 15年	1926	旭川改修計画の樹立・直轄改修に着手。
昭和 元年	1926	旭川改修計画を樹立（計画高水流量本川：3,300 m <sup>3</sup> /s、放水路：1,000 m <sup>3</sup> /s）。
9年	1934	大洪水（室戸台風）、旭川改修計画を改訂。（計画高水流量 本川：3,500 m <sup>3</sup> /s、放水路：2,000 m <sup>3</sup> /s）。
15年	1940	後楽園東側に旭川支流を開通。
20年	1945	大洪水（枕崎台風）、用地買収に着手。
23年	1948	食糧増産政策により計画変更（計画高水流量：4,500 m <sup>3</sup> /s、放水路：1,000 m <sup>3</sup> /s）。
28年	1953	旭川、湯原ダム完成により計画変更（計画高水流量本川：3,800 m <sup>3</sup> /s、放水路：1,000 m <sup>3</sup> /s）。
36年	1961	遊水効果の見直しによる計画変更（計画高水流量本川：3,800 m <sup>3</sup> /s、放水路：1,200 m <sup>3</sup> /s）。
39年	1964	河川法改正。
41年	1966	4月、旭川一級水系に指定。7月工事实施基本計画策定（計画高水流量 本川：3,800 m <sup>3</sup> /s、放水路：1,200 m <sup>3</sup> /s）。
43年	1968	百間川河口水門完成。
45年	1970	旭川直轄河川改修事業（旭川放水路）採択。
47年	1972	7月豪雨。用地買収が本格化。
49年	1974	百間川改修工事始まる。
51年	1976	用地買収ほぼ完了。9月洪水。
56年	1981	庄内川水門・庄内川排水機場完成。
58年	1983	暫定通水断面（800 m <sup>3</sup> /s 対応）概成。
平成 63年	1988	3月、百間川緑地整備基本計画策定。
元年	1989	3月、河川環境管理基本計画策定。
4年	1992	4月、工事实施基本計画改定（計画高水流量 本川：4,000 m <sup>3</sup> /s、百間川：2,000 m <sup>3</sup> /s）。
9年	1997	百間川築堤概成。 河川法改正。
10年	1998	10月洪水。
13年	2001	百間川河口水門増築事業の着手。
16年	2004	8月洪水。
20年	2008	1月、旭川水系河川整備基本方針策定。
23年	2011	9月洪水。
25年	2013	3月、旭川水系河川整備計画策定。
27年	2015	1月、百間川分流部改築着手。 3月、百間川河口水門増築完成。
30年	2018	7月豪雨。
令和 元年	2019	旭川放水路事業完成。



河川整備基本方針の流量配分図（平成20年1月）



【旭川放水路（百間川）改修事業】

- ・築堤、低水路掘削
- ・橋梁の整備
- ・用排水路・樋門の整備
- ・水門、排水機場の整備
- ・河口水門の増築 等